

編 集 後 記

研究の進め方は一様ではないし、論文の書き方も人によって異なっています。大きく分けて、単著執筆型と多著者執筆型とがあると思います。恩師平山恵造先生など前者のタイプは多いと思います。研究の企画、検討方法や結果の処理とまとめ、そして考察に筋を通すためには、正しい研究の計画と実行、さらに論文執筆のすべてを単独で進め、完成させるほうが効率が良いのだと思います。このタイプの方々は各種能力にたけた、才人が多いと思います。

私は、後者すなわち多著者執筆型の中に入るかもしれません。単著の著作や論文はとても少ないからです。これは意識的にしてきたことではありませんでしたが、現在では意識しています。

少し前のことになりますが、私の周囲の人を見渡して、研究実施、学会発表、論文執筆が得意な人はそれぞれ異なっていることに気がきました。その頃から、共同研究者の特

徴を把握し、相談しながら中長期的研究計画を立てて、分担して仕事を進める方が研究は円滑に進行すると感じ、それを実行するようになりました。

臨床に優れ、背景病態についての研究もして、学会での討論も得意で、さらに論文も自在に書ける。これらの多彩な能力をすべて兼ね備えている人は決して多くはありません。ごく普通の人にとっては、もともと持っていた能力に加えて、不断の努力が必要で、努力できる能力の背景には、研究に対する大きな情熱が必須です。

医師の文化が激しく変わりつつある昨今、すなわち家族との時間を確保して、臨床家としての仕事をなし、さらに研究し、論文執筆の時間を確保するためには熟慮した工夫が必要です。ご自分のタイプをまず知って、研究に向かうのも一つの工夫であると考えます。

(河村 満)

〈編 集 委 員〉

編集委員長 鈴木 則宏 編集副委員長 河村 満
 編集委員 荒木 信夫 飯塚 高浩 池田 昭夫 亀井 聡
 瀧山 嘉久 坪井 義夫 西野 一三 野村 恭一 星野 晴彦
 編集委員(幹事兼任) 園生 雅弘 高尾 昌樹

「臨床神経学」	第56巻 第12号	平成28年12月1日発行	
編 集 者	東京都文京区湯島二丁目31番21号 一丸ビル		一般社団法人日本神経学会
発 行 者	東京都文京区湯島二丁目31番21号 一丸ビル		高 橋 良 輔
印 刷 所	〔郵便番号 602-8048〕京都市上京区下立売通小川東入		中西印刷株式会社

発 行 所 〔郵便番号 113-0034〕東京都文京区湯島二丁目 31 番 21 号 一丸ビル
 日 本 神 経 学 会

郵便振替口座 東京 00120-0-12550

TEL. 03-3815-1080 FAX. 03-3815-1931

ホームページアドレス：<http://www.neurology-jp.org/>